

平成26年9月11日

国道208号「浦島橋」の本線橋の架替えに着工します

国土交通省福岡国道事務所で管理を行っている浦島橋は、昭和31年に架設されて以来58年余り経過しており、橋の損傷が激しく老朽化が進んでいます。また、橋梁の耐震性の向上、右折レーンの確保による渋滞の緩和、歩道設置による歩行者等の安全確保が必要となっています。

これらの課題を解決するために、平成20年度に浦島橋の架替えを事業化し、これまで測量調査、用地買収等を進めてまいりました。そして今回、新しい浦島橋の本線橋の下部工（P1橋脚）に着工しますのでお知らせします。

着工日：平成26年10月11日（土）

つきましては、起工式を執り行う予定としておりますので、具体的な内容等が決まりしだい、改めてお知らせします

《問合せ先》

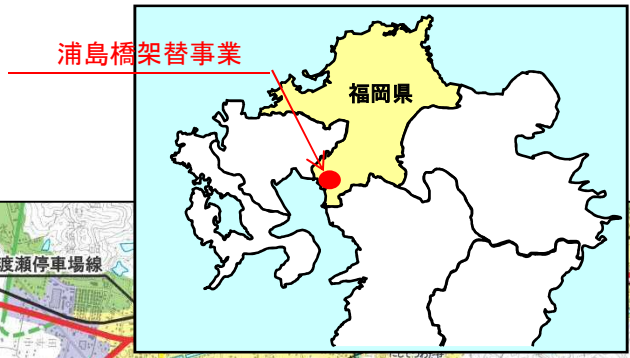
国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

電話：092-681-4731【代表】

技術副所長 やまぐち 山口 隆 （内線 204）

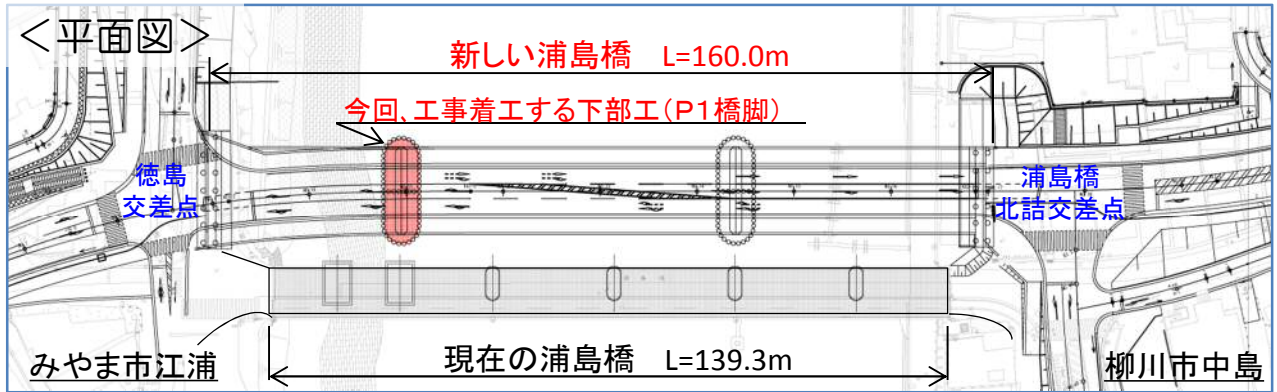
道路保全課長 ちとせ 千年 康秀 （内線 491）

国道208号 浦島橋架替事業 位置図



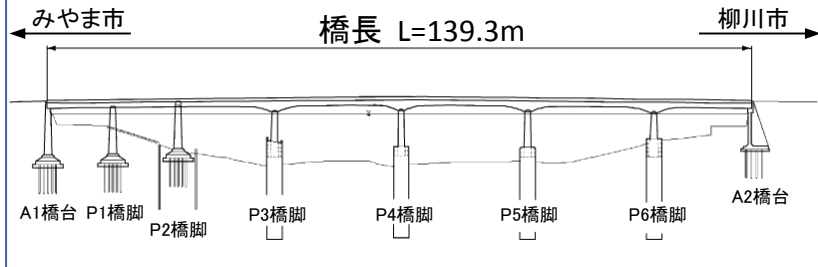
凡	例
基本計画 2車線 4車線以上	国道(直轄改善区間) 国道(直轄管理区間)
事業中 4車線以上 2車線以下	国道(直轄管理区間外) 主要地方道 県道

国道208号 浦島橋架替事業の概要



■現在の浦島橋■

〔現況写真〕



<整備効果>

① 橋梁の耐震性向上



昭和31年に架設された現在の浦島橋は損傷が激しく老朽化が進行しており、橋の架替えにより耐震性も向上します。

② 渋滞の緩和



右折レーンが無い場合、右折車両の滞留により、後続の直進車両を阻害している

車道幅員を拡幅し、大型車の離合を円滑化し、更に右折レーンの設置で渋滞を緩和します。

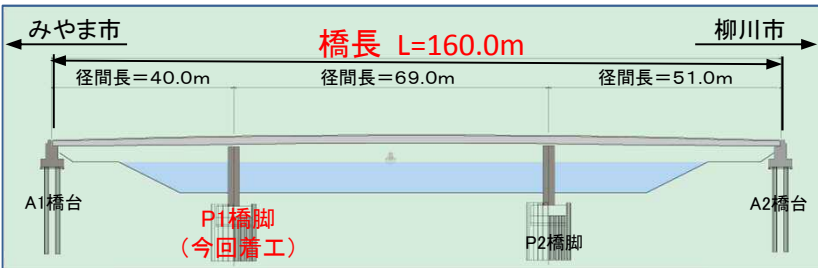
③ 歩行者等の安全な通行確保



歩道が無く、歩行者等は路肩を通行している

橋の区間及び前後区間で歩道を両側に設置し、歩行者等の安全を確保します。

■新しい浦島橋■



〔完成イメージ〕

